

AXIOLE IdP オプションリリース開始キャンペーン

認証アプライアンスサーバ「AXIOLE」に IdP 機能を搭載 大学教育機関等にシングルサインオンによる統合 ID 管理を提供

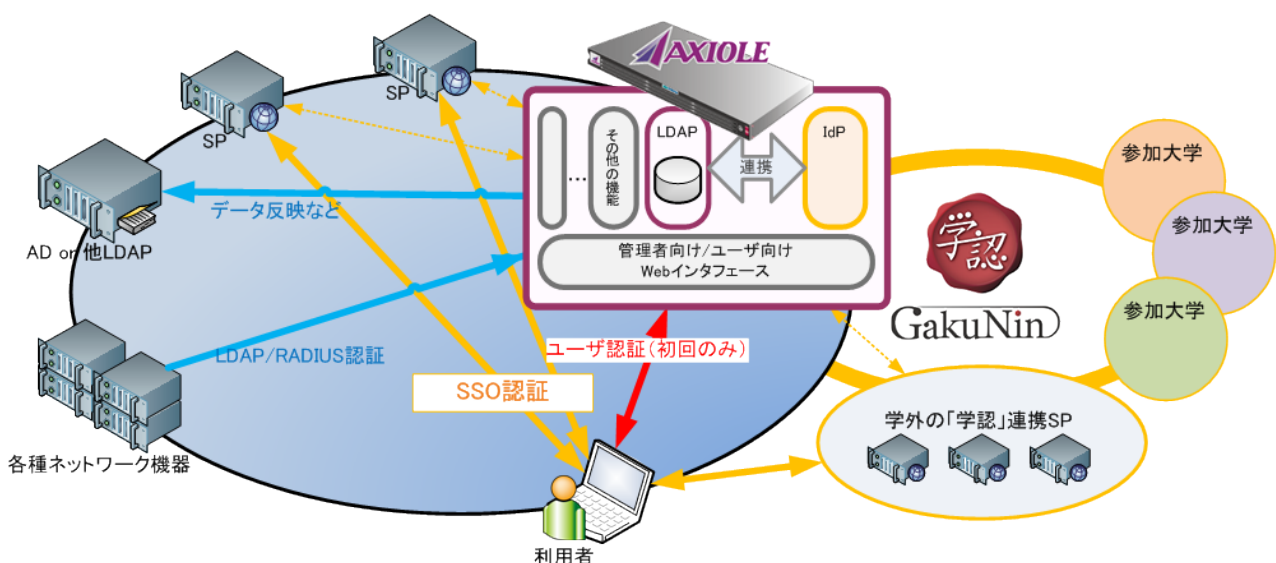
株式会社ネットスプリング（本社：東京都港区、代表取締役社長：西武 進）は、全国の大学等と国立情報学研究所（NII）が連携して運用を開始している「学術認証フェデレーション」（学認：GakuNin）の相互認証連携システム「Shibboleth」への対応を開始し、学術教育研究機関向けに、異なる組織間でのシングルサインオンを実現する機能を本年1月末にリリースしました。第一弾として、認証アプライアンスサーバ「AXIOLE（アクシオレ）」のファームウェアに Shibboleth の IdP（Identity Provider）機能「AXIOLE IdP オプション機能」をリリースしました。

AXIOLE に IdP オプション機能を追加することにより、大学や高专等の学術教育機関の各 Web アプリケーション間で認証連携によるシングルサインオンを可能にする統合 ID 管理システムが、オールインワンのアプライアンス形態で実現しています。今回、この新機能を広く活用して頂く目的として早期導入ユーザ向けに期間限定で半額キャンペーンを実施します。

▼ Shibboleth によるシングルサインオン機能

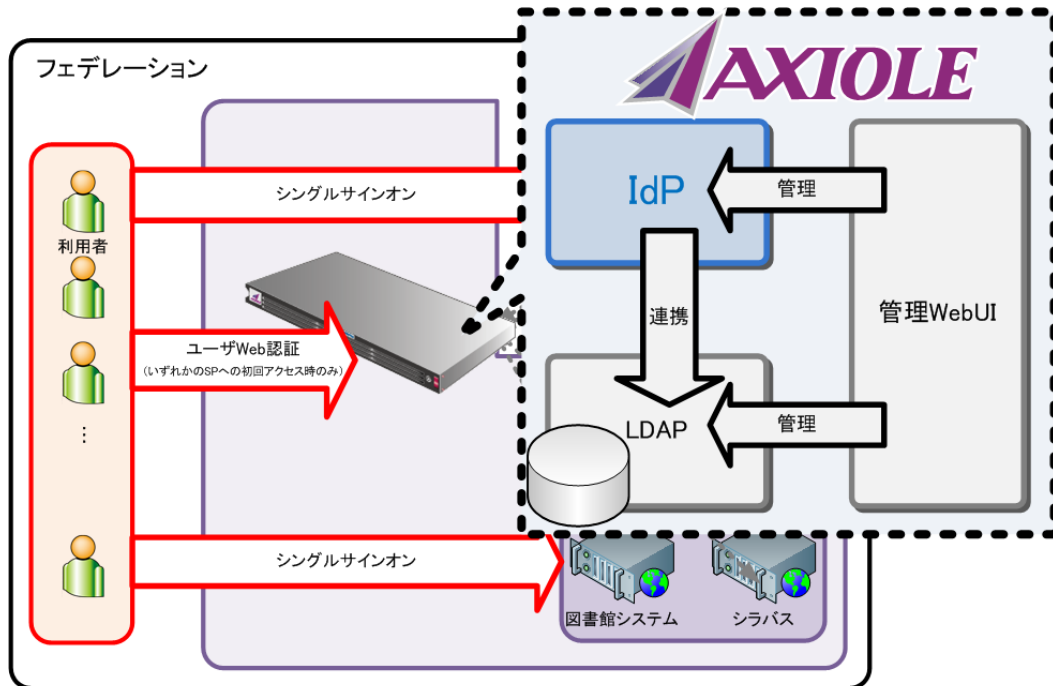
Shibboleth は、米国の産官学協同による次世代インターネット研究開発プロジェクト「Internet2」から生まれた仕様で、SAML（Security Assertion Markup Language）をベースとする Web シングルサインオン関連システムです。国内では NII が取りまとめた大学等により構成される連合体 GakuNin により、運用・展開されています。

組織間に連盟“フェデレーション”を構築、あるいは既存の連盟“フェデレーション”に参加し、ユーザ情報の参照方法などをフェデレーション内で信頼し合うことで認証の連携を実現するシステムです。フェデレーション内の Web サービス（Service Provider 化された）で一度 Web 認証を行えば、関連する Web サービス（同）へのシングルサインオンが可能となり、学内外の様々なサービス（コンピュータネットワーク、図書館、グループウェア、シラバス、e-learning 等々）を利用する場合にも一度の認証で利用が可能となります。



▼AXIOLE と IdP の一体化によるメリット

フェデレーションへの参加には Identity Provider (IdP) の構築が必要です。また、IdP 自身はユーザ情報を持たないため、LDAP 等のユーザリポジトリと連携する必要があります。AXIOLE では、本来提供している LDAP ベースの機能をユーザリポジトリとし、さらに装置内に IdP 機能も動作させることができるため、サーバ機器を増やすことなく IdP 環境の構築とユーザリポジトリとの連携までを容易に実現できます (AXIOLE 以外の製品では、別途、LDAP や AD (Active Directory) 等の認証サーバの構築および連携構築が必要)。また、AXIOLE の WebUI でユーザ管理を行いつつ、IdP の運用までも一体化が可能となります。



単位互換制度や学術連携など大学間での連携や、産学間での共同研究、人事交流など、大学を取り巻く連携・フェデレーション化の動きが拡大しており、そのネットワークの相互利用を迅速にする認証連携ニーズの増大化、複雑化も加速しています。ネットスプリングは、AXIOLE ほか当社製品に Shibboleth 関連機能を追加していくことによりこうしたニーズに応えるとともに、今後も大学等の教育学術機関の活動を支える情報ネットワーク認証の高度化、高効率化、利便化、安全化に寄与していきます。

■AXIOLE 「 IdP オプション」 の主な機能

- 連盟 “フェデレーション” 内での Web 認証機能と Web アプリケーション間シングルサインオン機能
フェデレーションに参加することで、フェデレーション内の複数の Web アプリケーション (SP) をシングルサインオンで安全に利用できるようになります。
- Shibboleth 向け (GakuNin 推奨) 属性等の定義を標準提供
学術機関向けに、Shibboleth (GakuNin) 環境で利用されることの多い属性等を予め定義しており、職種、利用資格等の属性を AXIOLE の WebUI から編集することが可能になります。必要なメタデータ等のテンプレートが標準提供されます。
- 利用可能な Web アプリケーションの自動更新機能
フェデレーション内の Web アプリケーションが追加された場合、その情報は定期的に AXIOLE 内に取り込まれるため、自動的に新しい Web アプリケーションの利用が可能になります。
- Stored ID (persistent-id) の利用および管理
どこの Web アプリケーションからどのユーザが IdP の認証を受けたかという識別情報を AXIOLE 内部で持続的に保持。IdP 認証時にこの Stored ID を送信することで、Web アプリケーシ

ョン側においてユーザ単位で前回の情報を参照・自動復元等が可能です。また Stored ID の検索・ダウンロード・削除等の管理機能が提供されます。

●IdP ログ管理

AXIOLE の管理 WebUI で IdP ログの管理が可能。IdP による認証を受けたユーザ、Web アプリケーション、要求・応答の内容の参照や保存・転送等の管理が容易に行えます。

●IdP 機能の冗長化が可能

AXIOLE の冗長構成 (AXIOLE リダンダンシ構成) により IdP の冗長構成も可能に。

<その他の機能>

●外部のリポジトリ (LDAP や AD 等) 参照による IdP 専用アプライアンス化が可能

●専用の IdP 認証画面

IdP 認証時には AXIOLE 専用の認証画面が表示され、新たな認証ページの構築は不要

●一括バックアップ・リストア機能

AXIOLE および IdP 等の設定情報の一括バックアップ・リストア機能の提供

●IdP 認証に 2 つのネットワークインタフェース利用が可能

■AXIOLE 「IdP オプション機能」の早期ユーザ向け特別キャンペーン

●キャンペーン販売特別ライセンス料金：500,000 円 (税別) [標準料金 100 万円]

- ・ワンタイムライセンス料金 (一括払い)
- ・AXIOLE のアカウント数に依存しない一律料金
- ・AXIOLE 導入済既存ユーザのライセンス追加にも適用。
 - IdP 機能を後々、活性化することが可能

● 期間限定：本発表から 2012 年 6 月末日までにご発注頂けたユーザのみ

● IdP オプションに追加機能を計画中 (アップグレード費用不要)

【AXIOLE の特長・機能、およびオプション機能について】

- ・LDAP ベースの認証基盤を 1 U のアプライアンス形態で提供
- ・スキーマ属性等 DB 設計が不要
- ・日本語 WebUI ベースの管理システムおよびエンドユーザ向け機能を提供
- ・RADIUS プロトコルにも対応
- ・ActiveDirectory (AD) と ID 同期が可能
- ・AXIOLE 2 台による冗長構成が可能
- ・「LDAP スキーマオプション」

汎用的な LDAP 機能を提供 (有償)

- ・「クラウド連携機能 (Google Apps 連携オプション)」

AXIOLE と Google Apps 間の ID 同期機能を提供 (有償)

AXIOLE 製品ホームページ <http://www.axiole.jp/>

【学術認証フェデレーション(学認:GakuNin)プロジェクトについて】

学術認証フェデレーションとは、学術 e-リソースを利用する大学、学術 e-リソースを提供する機関・出版社等から構成された連合体のことです。各機関はフェデレーションが定めた規程(ポリシー)を信頼しあうことで、相互に認証連携を実現することが可能となります。

認証連携を実現することができれば、学内でのシングルサインオン(一つの ID・パスワードであらゆるシステムが利用可能であること)を実現することが可能になるとともに、他大学や商用のサービスにおいても、1つのパスワードを利用し、かつ ID・パスワードの再入力を行わずに利用できる環境を実現することができます。例えば、他大学の無線 LAN をいつも大学で使用している ID とパスワードで利用することができ、かつ自大学が契約している電子ジャーナルヘシームレスにアクセスすることも可能となります。学術認証フェデレーションを利用することの詳細な利点については、こちら ([GakuNin の利点](#)) をご覧ください。GakuNin サイト：<http://www.gakunin.jp/>

また、産業界側の支援組織として、学術の情報サービス連携コンソーシアムも形成され、産学の「大」連携を目指した活動も行われています。ICTSFC コンソーシアムの詳細は、<http://ictsfc.org/partner.html> を参照下さい。学認との連携事例は、<https://www.gakunin.jp/docs/files/gakuninkouen11.pdf> などがあります。

【ネットスプリングのその他の主な製品】

- ・ FEREC520 / FEREC720 / Center2 (Web 認証ゲートウェイ製品群)
FEREC 製品専用サイト：<http://www.ferec.jp/>
 - ・ SmartSignOn for FEREC (スマートサインオン) iPhone/iPad 版および Android 版アプリ
SSO4F 専用サイト <http://www.SmartSignOn.jp>
 - ・ SSOcube (汎用型シングルサインオンアプライアンス)
SSOcube 製品専用サイト：<http://www.SSOcube.jp/>
- ※記載された会社名および製品名などは、該当する各社の商標または登録商標です。

【株式会社ネットスプリング 会社概要】

- ・ 本社所在地：東京都港区三田 3-12-16 山光ビル 2F
- ・ 代 表 者：代表取締役社長 兼 最高経営責任者 西武 進 (にしたけ すずむ)
- ・ 設 立：2000 年 3 月
- ・ 資 本 金：8,075 万円
- ・ 事 業 内 容：ネットワーク関連製品の企画・開発・販売
- ・ U R L：<http://www.netspring.co.jp/>

一般読者からのお問い合わせ先：
株式会社ネットスプリング マーケティング部
TEL：03-5440-7337 E-mail：info@netspring.co.jp